MONTHLY NEWSLETTER ｜ 月刊

工場・倉庫通信

工場・倉庫オーナー様のための建築・経営情報紙 ｜ BUILD UP（ビルドアップ）

ISSUE 令和8年

12 月号

【発行元】株式会社徳川組
〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀1111
TEL：0276-88-2020

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「 BUILD UP（ビルドアップ） 」は、株式会社徳川組が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「BUILD UP（ビルドアップ）」を宜しくお願いいたします！

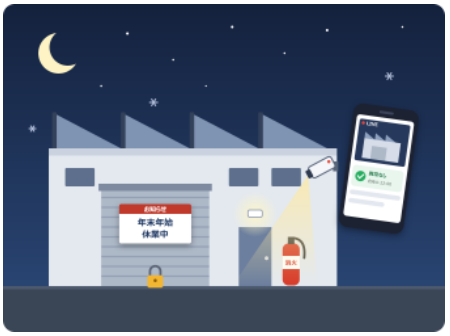
年末年始の長期休業に備える！工場・倉庫の火災・防犯対策

乾燥期の出火と“無人の時間”から、資産と操業を守る

空気が乾燥し、暖房器具の使用が増える12月は、1年のなかでも火災が起きやすい時期です。さらに年末年始は工場・倉庫が長期間無人となり、出火や侵入に気づくのが遅れて被害が拡大しがちです。設備を点検できる年内のうちに講じておきたい、建物の火災・防犯対策を解説します。

1 出火させない・広げない「防火」対策

工場・倉庫の火災は、古い電気設備からの出火と、燃えやすい内装材を伝う延焼で被害が大きくなります。「出火源」と「延焼経路」の両面から対策しましょう。



① 分電盤・配線の老朽化対策（トラッキング火災の防止）

古い建物では、配線の劣化やコンセントに溜まったホコリによるトラッキング現象が出火原因になります。分電盤・配線の更新や漏電遮断器の設置で、出火リスクを元から断ちます。

② 防火シャッターの作動確保と内装材の不燃化

防火シャッターや防火戸が確実に閉まるかどうかが、被害の大きさを左右します。シャッター下の荷物の撤去や作動点検に加え、断熱材・内装材を不燃材料へ切り替えて延焼を防ぎます。

【ポイント】火災対策の基本は「火を出さない」「出ても広げない」こと。電気設備の更新と防火区画の機能維持が、操業停止につながる大規模火災を防ぎます。

年末年始の長期休業に備える！工場・倉庫の火災・防犯対策

2 “無人の時間”を守る防犯・監視と凍結対策

年末年始の休業中は、異常に気づける人が建物にいません。人に代わって建物を見守る仕組みを整えましょう。

① 侵入されにくい建物づくりと遠隔監視カメラ

出入口やシャッターの施錠強化、センサーライトの設置で「侵入しにくい建物」をつくるとともに、スマートフォンで映像を確認できる遠隔監視カメラや侵入検知センサーを導入します。休業中でも異常をすぐに把握し、初動を早めることができます。

② 給水配管の凍結・破裂を防ぐ保温対策

暖房が止まる休業中は、屋外や外壁沿いの給水配管が凍結・破裂しやすくなります。保温材の巻き直しや凍結防止ヒーターの設置で、休み明けの漏水による設備・在庫の被害を防ぎます。

【ポイント】トラブルは発見が遅れるほど被害が拡大します。「人がいなくても守られている状態」をつくりましょう。

まとめ

火災や盗難、配管の破裂は、操業停止や在庫の損失、取引先からの信用低下に直結します。年内の大掃除・設備点検に合わせて、自社施設の「火災・防犯リスク診断」をぜひご検討ください。



工場・倉庫改修に使える
お得なお役立ちレポート↓

お問合せはコチラまで

工場・倉庫改修専門店「BUILD UP（ビルドアップ）」
（お問合せ窓口：渡辺）
TEL：0276-88-2020
〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀1111